

<自分の感情を感じる・知ること・表現すること>

子どもの成長を考えた時、生後8か月には人見知りをし、自分の知っている人と知らない人を感じ取り泣くという表現をします。やりたいことやりたくないこと好きな人嫌いな人、好きな食べ物嫌いな食べ物、そんな好き嫌いがでてくるのが、2歳児から3歳児です。3歳児になると一時期イヤイヤ期に入って、全部イヤイヤと拒否しながら自分の気持ちを感じる時期があります。大人にとってはとても面倒な時期ですが、子どもにとっては、大切な時期です。なぜ大切か・・・**自己主張をするきっかけの時期**だからです。それまで、大人のいうことをそのまま受けて行動してきていますが、「自分と大人は違う」「自分と他の人は違う」ことに気づき、主張しているからです。イヤイヤしているだけで、自分でなんでイヤイヤしているのかわからなくなっているときもあります。自分のそんな気持ちを感じる事が大切です。そこを経て、友だちと一緒に遊ぶ中で今まで感じなかった友だちとのイメージの違い、意見の違い、遊び方の違いを感じたり、体験したりします。自己主張ばかりしていると友だちが遊んでくれなくなったり・・・という経験を通して、自分がどうしたらよいのかを考えていきます。大人が全部指示をして過ごしている中では、育たないことです。友だちの中で、自己主張し合いながらトラブルを経験しないと育ちません。そして、友だちを通して、やきもちを焼いたり、嫉妬したりすることも経験していきます。4歳頃から「何故かわからないけど、友だちと先生と一緒にいるとイライラする。」とか、「友だちが上手くいって自分が上手くできないと泣けてくる。」とか・・・家庭では感じられない感情です。

最初は、その気持ちが高なかわからないと思います。

経験していく中で、「この気持ちがやきもちなんだ。」

「このイライラは、嫉妬なんだ。」と知っていきます。

知ることができるとその気持ちを表現します。

そして、どうしたらその気持ちを解消できるのか体得していきます。

そんな簡単には、この時期は終わりませんが、十分にこの気持ちを味わってほしいと思います。そして、自分の気持ちを逆反応で伝えるのではなく、真っ直ぐに伝えられるようになることを願っています。

仲の良い友だちと一緒にだから、体得できることです。友だちへの共感や理解が深まれば深まるほど自分のことをよく見つめることができるようになります。友だちからどれだけたくさんを教えられ、友だちにどれだけ多くのことをおしえることができたのかが人と関わる力となります。

お子さんが今どのような時期になっているか、確認しましょう。上記はおおよその年齢で示しています。お子さんによって皆歩みは違います。どんな感情を味わっているのか、何を表現しているのかを受け止めていきましょう。(学童の子どもたちも同じです)

子どもはいつもサインをだしています。子どもがだしているサインをキャッチして必要な援助をしていきたいと思っています。



《お知らせ》

○9月5日(月)から加藤 アンナ アグネタ モニカ先生
が在職することになりました。よろしくお願いたします。

モニカ先生が保育している時に英語に触れる機会を作ります。座学で英語を学ぶのではなく、英語を耳にし、触れることを自然の形でしていきます。生活している中で、遊んでいる中で英語に触れ、慣れて楽しみたいと思います。

9月は、月極の子どもたちは主に月曜日
学童の子どもたちは、土曜日と水曜日隔週で時間を作ります。

